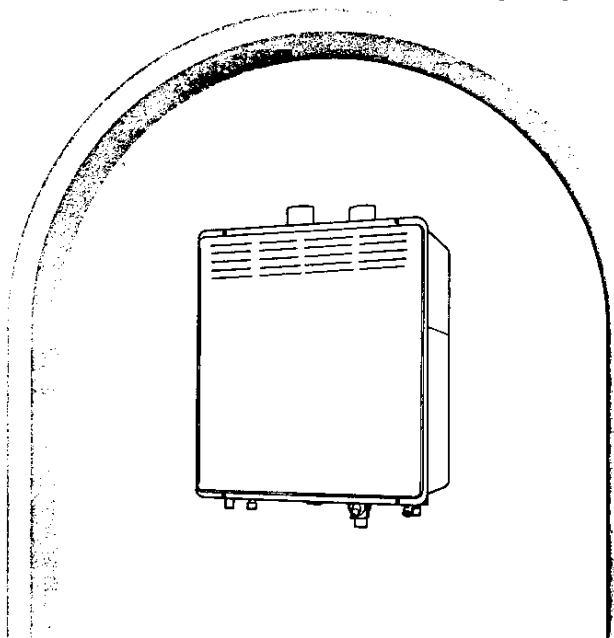


保証書付

型式名GT-1600WM-FF



ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
もとせんでも開
める警備を



お風呂の空だき
水もれ、濡かしすぎ
にご注意



ガス器具は
ガスの種類にあつた
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。SAC8943

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス追焚機能付湯沸器をお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

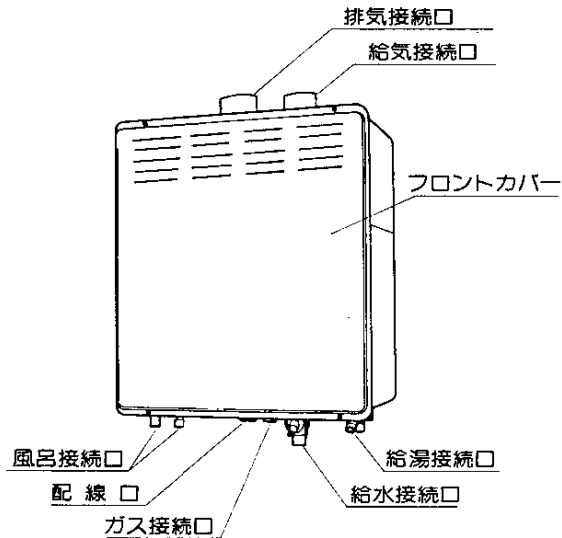
もくじ

●各部の名称	2
●特に注意していただきたいこと	5
●器具の設置	9
●使用手順	9
●冬期の凍結による破損防止について	14
●故障異常の見分け方と処置方法	17
●日常の点検・手入れ	20
●長期間使用しない場合	20
●アフターサービスのお申し込み	21
●特長	22
●寸法図と仕様一覧表	23
●本製品と快適なくらしのために	26

各部の名称

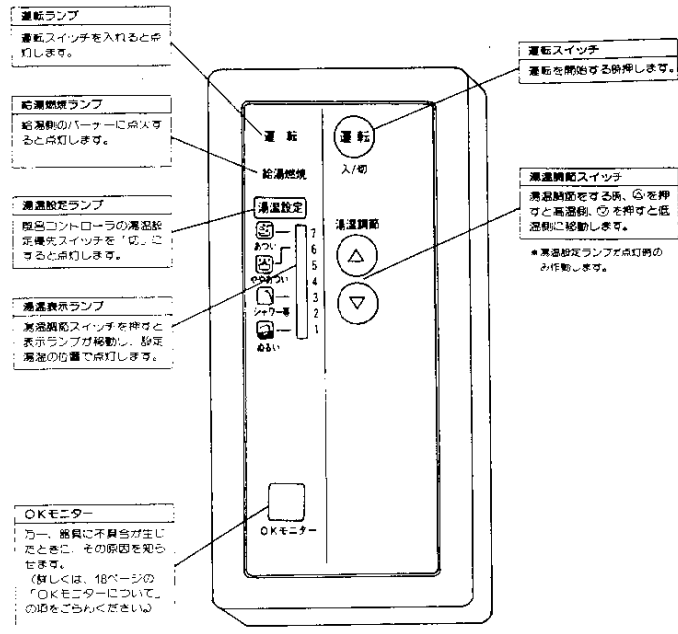
器具本体

31-295型



各部の名称②

メインコントローラ



各部の名称

風呂コントローラ

消き上がり湯温表示ランプ
消き上がりスイッチを押すと表示ランプが移動し、湯温調節位置で点灯します。

風呂運転ランプ
風呂スイッチを入れたら点灯します。

風呂点検ランプ
風呂側のバーナーに点火すると点灯します。

OKモニター
万一、給湯に不具合が生じたときに、その問題を知らせます。
(詳しくは、18ページの「OKモニターについて」の項をごらんください)

風呂スイッチ
お風呂を流す時押しします。

消き上がり湯温調節スイッチ
消き上がり湯温をセットする時使います。
湯温調節をする時、①を押すと高湯側、②を押すと低湯側に移動します。

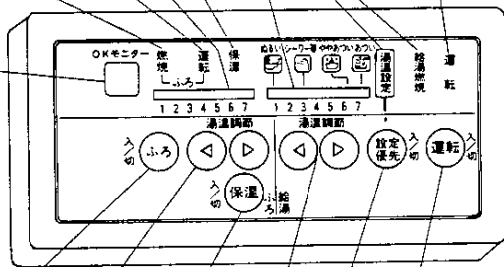
湯温表示ランプ
湯温調節スイッチを押すと表示ランプが移動し、設定湯温の位置で点灯します。

保温ランプ
保温スイッチを入れたら点灯します。

湯温設定ランプ
風呂コントローラの湯温設定優先スイッチを入れたら点灯します。

給湯点検ランプ
給湯側のバーナーに点火すると点灯します。

運転ランプ
運転スイッチを入れたら点灯します。



保温スイッチ
お風呂を流かし、さらに保温させる時押しします。
(押しした後4時間有効)

運転スイッチ
運転を開始する時押しします

湯温設定優先スイッチ
スイッチを入れたら湯温調節時は風呂側優先にメーコンローラで湯温調節はできません。

湯温調節スイッチ
湯温調節をする時、①を押すと高湯側、②を押すと低湯側に移動します。

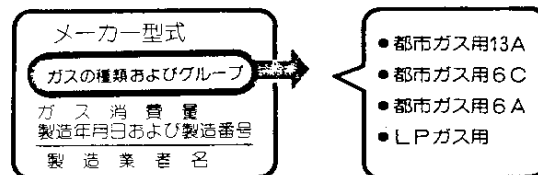
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
器具本体の前面にはついている銘板（ラベル）に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では使用しないでください。

(銘板)



- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

用途についてのご注意

- 給湯及びシャワー及び風呂の湯焚き以外の用途には使用しないでください。
- 器具内に長時間たまっていた水は、飲用または調理用に用いないでください。

使用場所についてのご注意

- 屋内設置専用の器具です。屋外には絶対設置しないでください。
- 壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。
- 特殊薬品（アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類等）やその蒸気がかからない所に設置してください。
- ガスレンジやコンロなどの燃焼器具の上には設置しないでください。

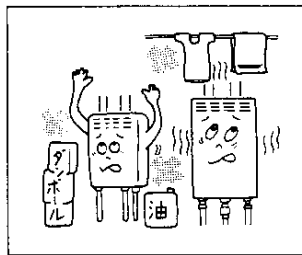
使用上のご注意

ガス漏れ予防

- お出かけや、おやすみになるときは、必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。
- 使用中にガスのにおいや、不快なおいがないかときどき確かめてください。

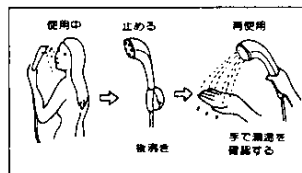
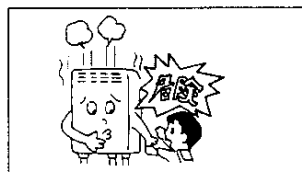
火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、洗たく物、揮発油など)を絶対においたり近づけたりしないでください。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしてしないでください。



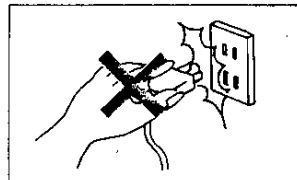
やけどのご注意

- ご使用中および使用後しばらくは、器具本体と排気管は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいらっしゃるご家庭はご注意ください。シャワーなど使用後すぐに再度お使いになるときは器具の後沸きによって一瞬熱い湯がでることがありますので、ご注意ください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちに使用を中止してガス元せんを閉じ、大阪ガス支社または大阪ガスサービスショップにご連絡ください。
〔絶対に使用しないでください〕
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。



凍結についてのご注意

- この器具には、冬期の凍結による破損防止のために「凍結予防ヒータ」が内蔵されています。凍結予防ヒータが作動する可能性のある期間中は、緊急の場合以外には、電源プラグを抜かないでください。
- 厳寒期には、器具内の水が凍結し、破損事故が起こることがありますので器具内の水が凍るおそれのあるときは凍結を予防する処置を必ず行なってください。(詳しくは14～16ページの「冬期の凍結による破損防止について」の項にしたがって処置をしてください。

凍結したとき

- ①器具や配管が破損しますと高額の修理費がかかります。(有料)
- ②凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- ③再使用の場合は、凍結がとけた後全ての給湯せんから水が出ることを確認し、器具及び配管から水漏れがないことを確認後、9ページ「使用手順」の項以下の操作を行なってください。

特に注意していただきたいこと④

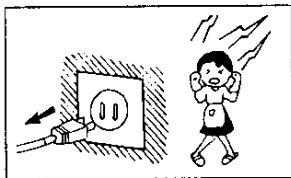
使用上のご注意

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具せん、ガス元せん閉止）して十分な点検をお願いします。
（故障異常の見分け方と処置方法については17ページをお読みください）

雷雨時のご注意

- 近くで雷の音が聞えてきたときは、落雷時の電子部品の破損を防止するため、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
（電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカで切ってください。）
- 雷が遠ざかったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。



日常の点検・手入れ

- 日常の点検、手入れをしてください。（詳しくは20ページをごらんください。）
- 故障又は破損したと思われるときは使用しないでください。
- このとき、ご自分で修理なさらずに大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

健浴剤や洗剤についての注意

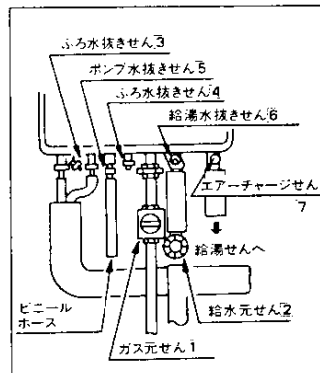
- 硫黄、酸、アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因ともなるのがありますので、健浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

器具の設置

（詳しくは工事説明書をお読みください）

- 器具の設置は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

使用手順

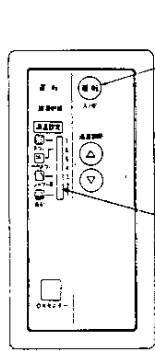


■点火前の準備と確認

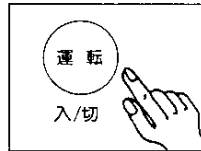
- (1)給水元せん②を開き、すべての給湯せんから水の出ていることを確認してください。また、水抜きせん③④⑤⑥、エアチャージせん⑦が確実にしまっているか確認してください。
- (2)ポンプ水抜きせん⑤に接続しているビニールホースを給湯水抜きせん⑥に接続し、ポンプ水抜きせん⑤及び給湯水抜きせん⑥を左に回してあげポンプに呼水を入れてください。（ふる水抜きせん③をあげておき、ここから水が出るまで）その後ふる水抜きせん③ポンプ水抜きせん⑤給湯水抜きせん⑥を右に回してしめてください。
- (3)ガス元せん①を開いてください。
- (4)電源プラグをコンセントに差し込んでください。

使用手順②

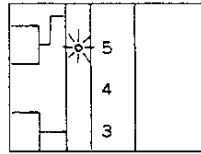
給湯します



- 1** 運転スイッチを「入」にします
(風呂コントローラでもかまいません)
運転ランプ、湯温設定ランプ、OKモニターが点灯します。

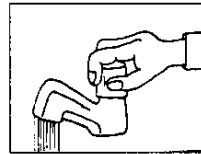


- 2** 湯温表示ランプが設定した位置で点灯します



- 3** 給湯せんを開ければお湯が出ます

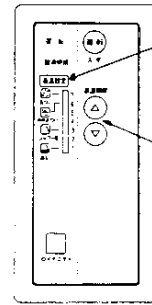
給湯燃焼ランプ(赤色)が点灯します。
使用後、給湯せんを閉じると給湯燃焼ランプが消えます。



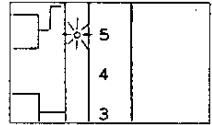
使用手順③

湯温調節をします

〈メインコントローラで湯温調節する時〉

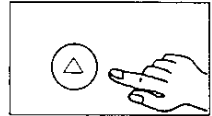


- 1** 湯温設定ランプの点灯を確かめます

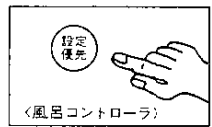


- 2** 湯温調節スイッチを押します

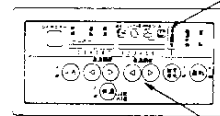
湯温調節スイッチで湯温を設定します。△を押すと高温に、▽を押すと低温になります。



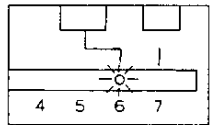
- 3** 湯温表示ランプが点灯しない場合
風呂コントローラの「設定優先」スイッチを押すと、メインコントローラの湯温調節ランプが点灯します。



〈風呂コントローラで湯温調節する時〉



- 1** 湯温設定ランプの点灯を確かめます



- 2** 湯温調節スイッチを押します

湯温調節スイッチで湯温を設定します。△を押すと高温に、▽を押すと低温になります。



■湯温設定 (出湯温度は目安です)

表示	番号	出湯温度(℃)
あつい	7	76
ややあつい	6	50
	5	46
	4	44
シャワー用	3	42
	2	40
ぬるい	1	38

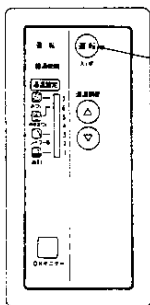
出湯温度は夏場、水温の高い場合は設定温度より高くなり、冬場水温の低い場合は設定温度より低くなる場合があります。

使用手順④

■お風呂を沸かす前に

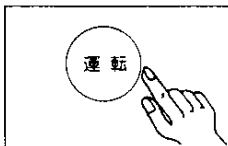
1. 浴槽の排水せんで水を漏れしないよう排水口にしっかりと差込んでください。
2. 浴槽に湯（又は水）を適量張ります。
 - このとき、湯（又は水）が風呂アダプターより5cm以上、上にあるようにしてください。
 - 給湯してから沸き上げる方が早く効率よく、沸かせます。水から沸き上げると時間がかかりますが、夏場、置き水をする場合などは、ムダなく沸き上げられます。

お風呂を沸かして保温します



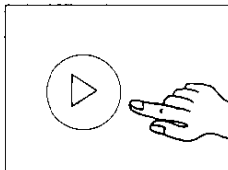
1 運転スイッチを「入」にします

（メインコントローラ、風呂コントローラどちらでもOK）
運転ランプ（緑色）が点灯します。



2 沸き上がり湯温調節スイッチ（風呂コントローラ）で、保温したい温度を設定します

①を押すと高湯側へ、②を押すと低湯側へランプが移動します。



3 保温スイッチ（風呂コントローラ）を「入」にします



4 設定温度まで自動的に沸き上げ、その温度で保温します

（保温スイッチを押してから4時間有効）

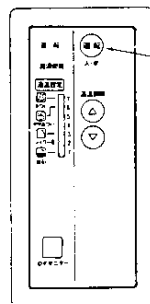
設定温度の目安

番号	沸き上がり湯温℃
7	50
6	45
5	43
4	42
3	41
2	40
1	38

●設定温度の目安を参考に、沸きあがりの湯温を決めてください。

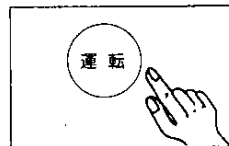
使用手順⑤

お風呂を沸かします。追い焚きします。（保温しない場合）



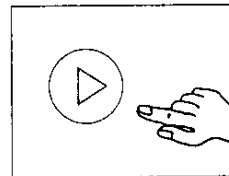
1 運転スイッチを「入」にします

（メインコントローラ、風呂コントローラどちらでもOK）
運転ランプ、湯温設定ランプ、OKモニターが点灯します。



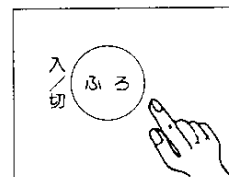
2 沸き上がり湯温調節スイッチ（風呂コントローラ）で、保温したい温度を設定します。

①を押すと高湯側へ、②を押すと低湯側へランプが移動します。



3 ふろスイッチ（風呂コントローラ）を「入」にします

ふろ燃焼ランプ（赤色）が点灯し、追い焚きが始まります。



4 設定温度になると自動的にストップします

ふろ燃焼ランプは消灯します。

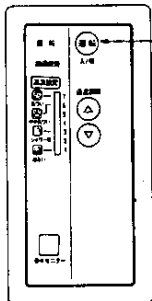
設定温度の目安

番号	沸き上がり湯温℃
7	50
6	45
5	43
4	42
3	41
2	40
1	38

●設定温度の目安を参考に、沸きあがりの湯温を決めてください。

使用手順 ⑥

使用後について



1 給湯せんを閉じます

使用後、給湯せんを閉めれば自動的に火は消えます。給湯せんを完全に閉めて、お湯の出を止めてください。



2 運転スイッチを押し「切」にします



停電後の使用方法

使用を中止し、運転スイッチを「切」にしてください。通電後、各々の操作をします。

長時間使用しない場合

長時間使用しない場合は、運転スイッチを「切」にし、ガスの元せんを閉めてください。



冬期の凍結による破損防止について

冬期は給水・給湯配管の水が凍結し破損事故が起こることがあります。このような事故を防止するため、次のような処置をお取りください。

凍結予防ヒーターと自動ポンプ運転による方法

- この器具は、外気温がさがってくると自動的に凍結予防ヒーターが器具内を保温し、追焚き部分の凍結を防止するためポンプが回りますが、異常ではありません。
- この装置は運転スイッチの「入」「切」に関係なく作動しますが、電源プラグを抜くと作動しなくなりますので、ご注意ください。

※配管部分の凍結まで防止できない場合がありますので、必ず保温材を巻きつけてください。

冬期の凍結による破損防止について②

通水による方法

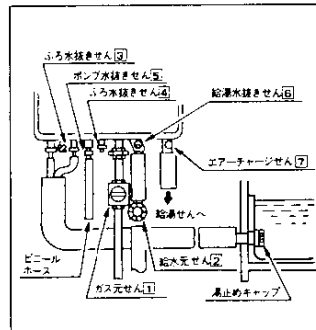
この場合は器具本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結も防止できます。ただし、浴そうへの追いだき配管には効果がありませんので、追いだき配管の露出部には保温材を巻きつけるかして十分に保温してください。

1. ガスの元せんをしめます。
2. 運転スイッチを「切」にします。
3. 給湯せんをあげ1分間に約200cc(牛乳ビン1本ぐらい)〔特に寒い日は多目〕を流してください。
※流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量をご確認ください。

器具内の水を抜く方法

入居前や長期不在の場合は必ず行なってください。

※ふる側から先に水抜きを行なってください。



(ふる側)

- ①浴そうの水を排水する。
- ②<1階に浴室がある場合>
風呂コントローラのふる運転スイッチを押して(ふる運転ランプ点灯)、湯止めキャップより水が出ることを確認する。5分程度そのままにする。
<2階に浴室がある場合>
ふる水抜きせん③④を左に回してあげた後、ふる運転スイッチを押し、ふる水が出てくることを確認する。
- ③排水の完了を確認後、ふる運転スイッチを押し、ふる運転ランプの消灯を確認する。
- ④ガス元せん①をしめる。
- ⑤ポンプ水抜きせん⑤をあげる。

※ふる側の水抜きを行なった後は浴そうに水を流しこまないでください。

冬期の凍結による破損防止について③

〔給湯側〕

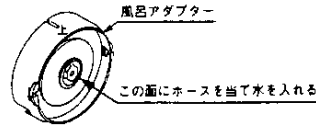
- ⑥メインコントローラの運転スイッチを「切」にし（運転ランプ消灯）、電源プラグを抜く。
- ⑦ガスの元せん①をしめてあるのを確認する。
- ⑧給水元せん②をしめる。
- ⑨すべての給湯せんを全開にする。
- ⑩給湯水抜きせん⑥を左に回してあげる。
- ⑪エアチャージせん⑦を左に回してあげる。
- 以上の操作で器具内の水は排水されますので、ポンプ水抜きせん⑤と給湯水抜きせん⑥より水が出てくることを確認し、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
- 再使用する場合
※給湯側より先に行なってください。

〔給湯側〕

- ①給湯水抜きせん⑥、エアチャージせん⑦およびすべての給湯せんをしめる。
- ②給水元せん②をあけてすべての給湯せんから水が出るのを確認する。
- 〔ふる側〕（ポンプの呼び水の方法）
- ③ポンプ水抜きせん⑤に接続されているビニールホースの先端を給湯水抜きせん⑥に接続し、給湯水抜きせん⑥を左にまわしてポンプに水を入れる。
(約600ccふる水抜きせん③から水が出るまで入れる。)
- ④ポンプ水抜きせん⑤、給湯水抜きせん⑥、ふる水抜きせん③④をしめる。
- ⑤浴そうに水を入れる。
- ⑥ガス元せん①をあけ、電源プラグをコンセントに差し込む。
- ⑦ふる運転スイッチを押すと、湯止めキャップより気泡が出た後、正常になり燃焼ランプが点灯する。（気泡が出てこない場合は、ポンプ水抜きせん⑤よりもう少し水を入れてから、ふる運転スイッチを押す。）

- 以上の操作を行ってからご使用ください。
- ポンプへの呼び水の入れ方は次の方法でも可能です。

フィルターキャップとフィルターを取外し風呂アダプターの中心にホースを当て充分水を入れてください。（右図）



- ※現場施工の状態により、「凍結予防ヒーターと自動ポンプ運転による方法」や、「器具内の水を抜く方法」では、配管部分の凍結まで防止できない場合がありますので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

故障異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

次のような場合は故障ではありません

①最低作動水量について

この器具は、器内の通水量が最低作動水量(2.5ℓ/分)以下になったときは点火しませんので、故障とお間違いないように、ご注意ください。

②同時給湯について

2箇所同時にお湯を使用するとき、給湯配管の方法、給湯せんの開きぐあいによって、それぞれ給湯せんのお湯の量が異なることがあります。特に湯沸器から遠い場所、高い位置の給湯せんでは、お湯の出ない場合もあります。また、シャワーをご使用中に、他の給湯せんを同時使用しますと湯温や湯量が変動しますので、ご注意ください。

③50分以上連続給湯又は90分以上連続遠い焚きした場合、自動的に運転を中止します。

現象	原因				処置方法	参照ページ
	点火しない	使用中に消火がわる	湯温が安定しない	湯温が急に上がる		
ガス元せんの開き忘れ	○				ガス元せんを全開にする	
ガス元せんの開き不足	○				ガス元せんを全開にする	
ガス圧が適切でない					*	
電源プラグが抜けている					コンセントにしっかりと差し込む	
漏電安全装置の作動					電源プラグを抜き、器具の電源を切る	19
停電している					使用を一旦中止する	
安全装置の作動					*	
バーナーが閉じまり					*	
出湯量が多すぎる					給湯せんを少し絞る	
湯温調節機能を切替えていない						11
給水元せんの開き不足					給水元せんを全開で使う	
給水元せんの開き忘れ					給水元せんを全開で使う	
湯温調節が適切でない						11
ふる給湯ポンプの空水不足						16
浴そうフィルターがつまり						20

なお※印のもの、処置や原因のわからないときは、ただちに買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

【OKモニターについて】

OKモニター：この表示は器具が正常に運転しているかを示すものです。
通常はOを表示しておりますが、使用上もしくは器具の故障等で異常があった場合はO以外の表示（点灯又は点滅）をします。

表示ナンバー	点灯/点滅	内 容	対 処	備考
0	点 灯	通常Oが表示されます。 (運転スイッチONで表示し ます)但し、配管等の異常で 器具内のコントローラでわか らないものがあります。	—	—
1	点 灯	入水温の検知装置の不具合	—	※
2	点 灯	出湯温の検知装置の不具合	—	※
3 又は E	点 灯	炎(燃焼)感知装置の不具合	運転スイッチをいったん「切」 にし数秒まって再度「入」に してOになれば異常ではありま せん。	※
5 又は H	点 滅	90分以上連続給湯または90分以上 連続追焚した場合に点滅します。	—	—
6 又は L	点 滅	器具の不具合を感知して安全 動作の状態になっています。	ガス元せん(ガスボンベ)が開 いているか調べてください。 又過熱防止装置の作動してい る場合があります。 (19ページ参照)	—
7 又は P	点 滅	—	—	※
8	点 灯	能力最小で燃焼しています。	湯温設定を高湯側又は湯量を 多く(カランを全開にする) しOになれば異常ではありま せん。	—
9	点 灯	水温の検知装置の不具合 (風呂側)	—	※
U	点 滅	器具の不具合を感知して安全 動作の状態になっています。	—	※
C	点 灯	呼び水不足 (風呂側)	呼び水をする (16ページ参照)	—

故障・異常の見分け方と処置方法③

■安全装置が作動したときの処置方法

■バーナー安全装置

- 使用中に万一、バーナーの炎が消えても、安全装置が働いて自動的にガスが止まり燃焼ランプが点滅します。
給湯せんを開めてから運転スイッチをいったん「切」にし、しばらく待ってから再度「入」にしてください。

■過熱防止装置(温度ヒューズ)

- 使用中器具内の温度が異常に上昇したときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

■残火安全装置(ハイリミットスイッチ)

- 万一、熱交換器内が空焚状態、または異常温度となった場合に作動し、自動的にガスが止まります。
- この装置が働くと器具の診断が必要で、ガス元せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを切ってからお近くの大阪ガスサービスショップもしくは大阪ガス支社へご連絡ください。
- 燃焼ランプが点滅している時は、いったん運転スイッチを「切」にして、しばらくしてから「入」にしてください。
- 再び燃焼ランプが点滅する場合は運転スイッチを「切」にしてからガス元せんを閉め、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。

■漏電安全装置

- 使用中に器具に異常が生じ、漏電安全装置が働くと、運転ランプ及び燃焼ランプが消えます。このとき電源プラグをいったん抜き、再度「入」にしてください。またこの装置が頻繁に作動する場合は器具の点検が必要です。

■処置方法

- 18ページの「OKモニターについて」の項をごらんになり、異常原因に応じた処置をしてください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- ①器具を安全、快適に、ご使用いただくために日常の点検・手入れを必ず行なってください。
- ②点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、運転スイッチを「切」にして器具が冷えてから行なってください。
- ③フロントカバーなどは外さないでください。

点 検

- 器具の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものを置いていませんか？
- 給排気トップがふさがっていませんか？

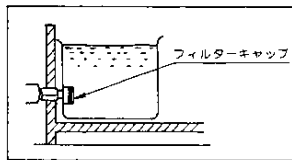
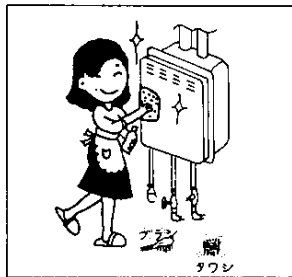
お手入れ

①外套の掃除

やわらかい布に中性洗剤を付けて、軽く拭いてください。
(タワシやブラシなどでこすらないよう注意してください)

②風呂アダプターのフィルター掃除

浴そう内のフィルターキャップを外し、内部のフィルターを月に1回程度掃除してください。



「フィルターキャップは「上」とマークのある方を上にして取り付けてください。」

長期間使用しない場合

長期間に渡って使用しない場合は、器具の水抜きを行なってください。
(器具の中の水を抜く方法については15～16ページをお読みください)

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 17ページ「故障異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- ①品 名……ガス追焚機能付湯沸器
- ②品 番……器具の正面下側に貼付してあります。

(4) 31-295 (U)

大阪ガス株式会社 01

- ③現 象……できるだけ詳しく
- ④道 順……できるだけ詳しく

転居される場合

- ガスの種類には、都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証について

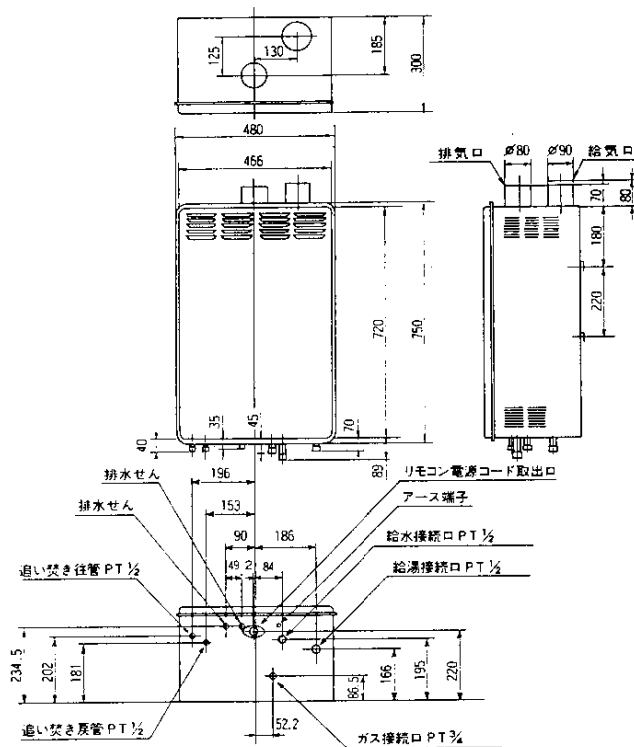
- この器具には保証書がついています。
このガス追焚機能付湯沸器は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特 長

- 1** コンパクトなセットフリータイプで、器具と浴室が離れていても（15m10曲りまで）お風呂が沸かせます。
- 2** 給湯しながら同時にお風呂の追い焚きができます。
- 3** お風呂沸かしは、設定温度で自動的に消火し、沸かしすぎの心配や、ガスのムダがありません。
- 4** 4時間の保温機能がついて、いつでも温泉気分が楽しめます。
- 5** 高感度な電子コントロールで、ガス量・水量をきめ細かく調節しますので、いつでも安定したお湯をご使用になれます。
- 6** 万一、器具の故障が起きてても、原因がひと目でわかるOKモニターが付いているので安心です。

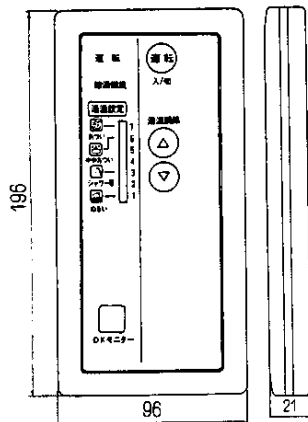
寸法図と仕様一覧表

●器具本体（31-295型）

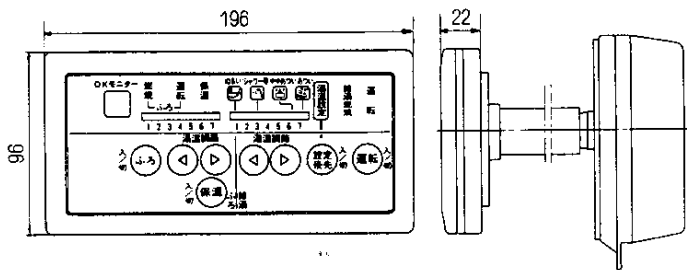


寸法図と仕様一覧表②

●メインコントローラ



●風呂コントローラ



寸法図と仕様一覧表③

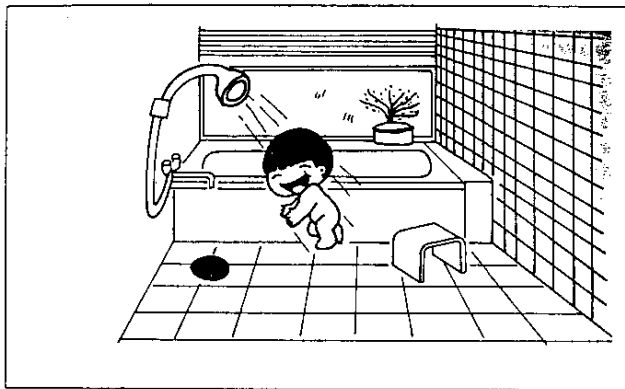
仕様一覧表

項目	種別	31-295型			
		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	L P ガス
ガス消費量 (kcal/h)	給湯	30500	30500	30500	2.55kg/h
	風呂	12000	12000	12000	1.0 kg/h
外形寸法 (mm)		高さ750×幅480×奥行300			
重量 (kg)		4.4			
接続	ガス	20A (PT ¾)			
	給水	15A (PT ½)			
	給湯	15A (PT ½)			
	風呂入水	15A (PT ½)			
	風呂出湯	15A (PT ½)			
	電気	AC100V、60Hz			
電気消費量 (W)		245 (凍結予防ヒーターは160)			
点火方式		連続スパークによるダイレクト点火			
最低作動水圧 (kg/cm²)		0.1			
最低作動水量 (ℓ/分)		2.5			
安全装置		バーナー安全装置、過熱防止装置 残火安全装置、凍結予防ヒーター+自動ポンプ運転 過圧逃し弁、空だき防止装置 漏電安全装置			
日水協認可登録番号		A-2849			

出湯能力 (能力最大) (ℓ/分)			
ガス種別	上昇高度	水温 + 25℃ 上昇	
		水温 + 25℃ 上昇	水温 + 40℃ 上昇
都市ガス	6C	(16.5)	10.3
	13A	(16.5)	10.3
	6A	(16.5)	10.3
L P ガス		(16.5)	10.3

※()内の出湯能力は計算値です。

本製品と快適なくらしのために



清潔なシャワーで爽快に！

夏場はシャワーで汗を流せます。そしてお風呂からの上り湯も、清潔なお湯で気分さわやかに。

おねがい

ガスに詳しい方は、お住まいのガス会社にお電話ください。
 (お電話が掛からない場合は、大阪ガス株式会社 サービスステーションにお電話ください)

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	☎541 大阪市東区平野町5丁目*	☎大阪06(202)2221
南支社	☎557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪06(652)0001
北支社	☎532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪06(301)1251
堺支社	☎590 堺市住吉南區2丁目2番10号	☎堺0722(38)1131
北摂支社	☎569 高槻市原の里3-9-6	☎高槻0726(71)0361
阪神支社	☎662 西宮市和上町4番1号	☎西宮0798(26)3101
東部支社	☎578 東大阪市塚元2丁目3番17号	☎河内0729(62)1131
京阪支社	☎573 枚方市西田町西6番17号	☎枚方0720(41)1251
神戸支社	☎650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸078(576)5231
京都支社	☎604 京都市中京区烏丸通地母屋町3番5号	☎京都075(231)8151
奈良支社	☎631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良0742(44)1111
和歌山支社	☎640 和歌山市本町1丁目1番1号	☎和歌山0734(31)2481
姫路支社	☎670 姫路市神樂町4丁目8	☎姫路0792(65)2221
粟津支社	☎675 加古川市加古川町粟津2番1号	☎加古川0794(21)1801
豊岡支社	☎688 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡07962(3)2221
湖南支社	☎525 津市船場元町字元町6番0号1	☎津0775(62)5311
彦根支社	☎522 彦根市大塚町12番11号	☎彦根0749(22)3131
(長浜営業所)	☎526 長浜市美浜町2番4号	☎長浜07496(2)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ、風呂販売店

大阪ガス株式会社